

入学生代表挨拶

柔らかな春風に心華やぐこの良き日に、私たちは新たな一步を踏み出します。本日は私たちのために、このような素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

私たち新入生一同は、今日より晴れて長崎総合科学大学の一員となれることを光榮に思っています。それぞれの将来の目標のために自分の興味のある分野を学ぶことができる喜びとともに大きな夢と希望を抱き、未来へ踏み出すことに身の引き締まる思いです。

長崎総合科学大学には、他の大学にはない特色が数多くあり、恵まれた環境の下で新たな仲間と過ごす四年間の全てが人生の宝となり、未来への糧となるでしょう。

長崎は西九州新幹線開業や長崎スタジアムシティの建設など百年に一度ともいわれる変革期を迎えており、若い力が必要とされています。大学生活を通し、伝統を守りつつ様々な変化にも対応できる柔軟な思考力と行動力を身に付けたいです。そのためには何事にも挑戦する必要があると思います。私は昨年、高校生ものづくりコンテストに県の代表として出場しました。きついことや苦しいこともありましたが、この経験はかけがえのないものです。大学でもいろんなことに挑戦し、社会に貢献できる人材となれるよう、自分の手で未来を切り開いていきたいです。

今日この瞬間から大学生活が始まります。私たちがこの日を迎えることのできたのはこれまで指導し、育ててくださった家族や周りの支えがあったからです。改めてここに感謝し、この気持ちを忘れずにこれからも過ごしていきます。そして、長崎総合科学大学の一員として責任ある行動を心がけていきます。どうか暖かいご指導をよろしく願います。

最後になりましたが、長崎総合科学大学の学生としての誇りを持ち、その名に恥じぬよう、これからの四年間を精一杯過ごすことを決意し、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

令和四年四月四日

長崎総合科学大学

入学生代表 本多 悠花